

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

1. 学校教育の充実

コミュニティ・スクール推進事業
事業費・・・358千円

担当課・・・教育総務課

学校内に、保護者や地域住民の権限と責任を持って学校運営に参画することや、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させる組織である学校運営協議会を立ち上げ、学校・家庭・地域社会が一体となってより良い教育の実現に取り組みます。

教育研究所費
事業費・・・301千円

担当課・・・教育総務課

県内各教育研究所と密接に連携を図りながら、教職員の研修を助成し、教育現場に直結する問題の研究解明と資料の作成提供・活用に努め、本市教育の振興に寄与するための事業です。

研究部員は、本市の各小・中学校の教職員概ね 87 人から構成し常に実践の上立った研究を行い、教育に対する社会の要請をとらえながら、問題意識を高めて、よりよい教育現場の実践者になるための研究を行います。

特色ある学校づくり事業
事業費・・・1,200千円

担当課・・・教育総務課

本市の児童・生徒の学力向上及び健全な心身の育成を図るため、学校及び地域の実態に即して実践的に研究を推進し、その成果を発表することなどにより、本市の教育振興に資するための補助金を交付しています。



学校での指定研究発表会

適応指導教室指導員活用事業
事業費・・・2,998千円

担当課・・・教育総務課

中学生のいじめや不登校、問題行動は、学校や家庭だけでなく深刻な社会問題となっています。これらは、子どもたちの人格形成上はもちろん、命にもかかわる深刻な問題であり、緊急かつ適切な対応が求められています。

いじめ・不登校等の解決のためには、生徒同士や生徒と教師との信頼関係の確立が大切であるとともに、学校で子どもたちが楽しく伸び伸びと生活し、学習に落ち着いて取り組めるようにすることが重要です。

そのために、生徒が悩みを気軽に話せ、ストレスを和らげ、心にゆとりを持って学校生活を送れるよう、諸活動の支援を行う第三者的な存在として「適応指導教室指導員」を各中学校に配置し、相談及び集団活動に参加できるように自立を促し学校生活への復帰を支援します。

学校図書の実充
事業費・・・33,834千円

担当課・・・教育総務課

児童・生徒に豊かな心を育み、確かな学力を身に付け、よりよい人格を育ていく上で、学校図書室の果たす役割は大変大きいものです。

このため、本市においては、各小・中学校の図書を増やし、学校図書室の充実を図るため、図書室補助員を配置します。(小学校 12 人、中学校 6 人)

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

特別支援教育支援員の配置事業
事業費・・・48,756千円

担当課・・・教育総務課

支援が必要と思われる児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組みを支援するという視点に立ち、児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うため、特別支援教育支援員を28人配置します。(小学校21人、中学校7人)
また、新しく看護支援員を小学校へ1人配置するなど支援教育の拡充を図ります。

放課後子ども教室推進事業
事業費・・・1,137千円

担当課・・・生涯学習課

地域の方々の参画を得て、すべての子どもに放課後の安全で安心な活動拠点(居場所)を確保し、様々な体験活動や学習活動を行います。



放課後の体験活動の様様

学校の支援活動事業
事業費・・・1,246千円

担当課・・・生涯学習課



支援活動(環境整備)の様子

保護者や地域住民による学校支援ボランティアが、学習支援、環境整備、部活動支援など様々な活動を行います。

また、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもたちを育てる体制づくりに努めます。

学校規模適正化事業
事業費・・・2,759千円

担当課・・・教育総務課

児童・生徒の数は年々減少しており、更なる学級数の減少や複式学級を有する学校が増えることが懸念されています。

児童・生徒が「生きる力」をはぐくみ、学校という集団生活を通してお互い切磋琢磨し学び合う環境の中で効果的な教育が受けられるよう、学校の規模・配置の適正化を進め、望ましい学校教育環境の整備を図ります。

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

学校施設整備事業

担当課・・・教育総務課

事業費・・・28,272千円

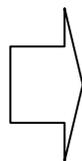
学校施設は、子どもたちの生活の場であるとともに、地域住民の緊急避難場所としての役割を担っており、老朽化した校舎などの建替えや改修工事を行っています。

今年度の主な事業としては、高道小学校の校舎屋根の防水工事を実施します。

(着工前)



(完成)



改修工事が完了した睦合小学校体育館

2. 社会教育の充実

生涯学習基盤の整備

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・71,655千円

市民の学習需要に総合的に応え、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興を図ることを目的とし、各種公民館講座を開講します。

生涯学習を通して得たものを地域に還元していただき、文化振興やまちづくりに貢献できるように、今後も多様な生涯学習の機会を提供します。



生涯学習フェスティバルでの舞台発表



平成24年成人式実行委員会

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

図書館運営事業

事業費・・・80,404千円

担当課・・・生涯学習課



玉名市民図書館の様子



横島図書館の様子



岱明図書館の様子

地域に密着した親しみやすい図書館を目指し、「市民と共に学び育てる図書館」を基本理念に、人間形成の基礎づくりと幼児や児童の読書推進に力を入れ、図書館に楽しんで来ていただけるように、心がけています。

さまざまなニーズに応えることができるように蔵書の充実と、サービス向上に努めています。

また、図書システムの統合により、玉名市民図書館、岱明図書館、横島図書館、天水図書室も共通して利用ができ、それぞれ特色のある図書館づくりに努力しています。

人権教育の推進

事業費・・・3,032千円

担当課・・・生涯学習課

様々な人権問題の解決を自らの課題としてとらえられるよう、一人ひとりがお互いを尊重し、命の大切さを実感できる「命の教育」を推進します。

また、同和問題を人権問題の基本としてとらえ、あらゆる人権問題解決のために、人権教育の一層の推進を図るため、講演会や研修会などを開催します。



人権教育研究大会の時の啓発パネルの様子

「なかよしの日」推進事業

事業費・・・1,000千円

担当課・・・生涯学習課



小学生による合奏披露の様子

子どもたちが安心して、安全に健やかに成長できるように、親が子を育てる喜び、子が成長する喜びを感じる社会づくりを進めます。

まずは大人が仲良くすることから始まり、家族・ともだち・学校・となり近所・地域全体の「なかよし」の「5つの「なかよし」」を基本理念として啓発推進する催しを企画します。

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

人材育成基金助成金

担当課・・・地域振興課

事業費・・・1,500千円

本市の未来に向け、社会の各分野において指導者となる人材を育成する事業に対し、助成を行います。

◇助成対象事業

- ・ 教育、文化、環境、福祉、産業等の振興に資する人材育成のための研修会等への参加又は研修会等の開催
- ・ 地域づくりの推進に資する人材育成のための研修会等への参加又は研修会等の開催

◇助成対象者

- ・ 本市に在住する個人
- ・ 本市に事務所等を有する団体又はグループ

◇助成額

助成額は、対象経費の総額から国・県等の助成額を除いた額の2分の1以内で、限度額は次のとおりです。

- ・ 海外研修 1人につき10万円、1団体等につき50万円
- ・ 国内研修 1人につき5万円、1団体等につき25万円
- ・ 研修会等の開催 1件当たり20万円



人材育成基金の助成により、アグリ7が開催した「てんすい農業経営講座」H24.2.29

平成23年度交付実績

- ① 海外研修 10人
- ② 国内研修 4人
- ③ 研修会開催 1件

平成22年度交付実績

- ① 海外研修 0人
- ② 国内研修 5人
- ③ 研修会開催 1件

平成21年度交付実績

- ① 海外研修 1人
- ② 国内研修 16人、1団体
- ③ 研修会開催 0件

3. 社会体育の充実

社会体育施設の充実

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・80,807千円

【事業の内容】

スポーツを通じて、心身ともに健康なからだを保持することは市民共通の願いであり、健康づくりや体力づくりに励む市民を育てることは社会体育の大切な役割であります。

本市においても市民が自ら運動に親しみ、スポーツを愛し、健康で活力ある生活を営む環境づくりを進めています。

また、社会体育施設の充実を図るため、体育館やグラウンド等の管理体制の整備と、施設の修繕・改修について年次計画を立て、検討していきます。



桃田運動公園市民プール



桃田運動公園内にある玉名市総合体育館

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

生涯スポーツの推進

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・23,214千円

【事業の内容】

◇スポーツ大会補助金

本市では金栗杯玉名ハーフマラソン(日本陸連公認コース)や市民マラソンとしては県内一の人気を誇る横島町いちごマラソン、みかんと草枕の里スポーツまつりほか地域のまちおこしも兼ねたスポーツイベントが数多くあります。

市民はもとより広域の皆さんにも参加頂き、思い出に残るようなイベントを行います。

◇市民スポーツの振興

生涯スポーツを推進するため各種目のスポーツ大会やイベントを開催します。



金栗杯玉名ハーフマラソン大会
(大会記録でフィニッシュする 旭化成の深津選手)



みかんと草枕の里スポーツまつり グランドゴルフ

社会体育の組織の強化と指導者の育成

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・12,865千円

【事業の内容】

◇社会体育の組織強化と指導者育成

体育協会(各種目)と連携を深め、選手育成やスポーツ指導者の資質向上を図ります。

また、各校区のスポーツ推進委員とともに、多くの住民が参加しやすいスポーツ行事の企画立案や地域に根ざしたスポーツ及びファミリースポーツの普及振興を図ります。

◇県民体育祭への選手派遣

熊本県民体育祭菊池郡市大会が平成24年9月15～16日(土、日)に同郡市内各会場にて開催されます。

本市は昨年総合12位を上回る成績を目指し、選手の育成に努めます。



熊本県民体育祭水俣・葦北大会

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

4. 文化・芸術の振興

歴史・文化施設の充実

担当課・・・文化課

事業費・・・59,718千円

本市には貴重な歴史的遺産が数多くあります。このすばらしい文化財の公開や保存整備などに努めます。

【主な事業】

・市歴史博物館ころもピア(43,369千円)

様々な企画展、催し物、体験学習を開催し教育の普及に努めます。

・指定文化財管理委託(4,623千円)

国、県及び市指定文化財の維持管理を行います。

・指定文化財周辺整備事業(8,312千円)

指定文化財の活用を図るため、市内外から訪れる方々が利用できる駐車場を整備します。



国指定文化財旧玉名干拓施設除草作業



企画展 学芸員による説明

文化芸術活動の推進

担当課・・・文化課

事業費・・・3,103千円

市民一人ひとりの自主性と創造性を尊重し、市民の文化意識の向上を図るとともに文化団体などへの支援を行い、文化芸術の向上に向けた取り組みを行っています。

毎年11月3日開催の市民文化祭は、多くの市民が文化に触れる機会となっています。

【主な事業】

市民文化祭 事業費 1,506千円



市民文化祭

無形文化財、伝統芸能の支援

担当課・・・文化課

事業費・・・910千円



大野下雨乞い奴踊り

地域に残る優れた伝統芸能を後世に継承するため、保存団体とともに積極的に後継者育成に取り組めます。また、歴史や文化を学ぶ教育の素材とするほか、神楽、梅林流鎗馬、築山花棒踊り、大野下雨乞い奴踊り等の伝統芸能文化の保存のための補助を行います。

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

5. 国際交流の推進

外国青年招致事業（ALT）
事業費・・・31,669千円

担当課・・・教育総務課

外国語教育の充実と地域レベルでの国際交流の発展のために、外国青年(Assistant Language Teacher)6人を招致し、小・中学校における外国語指導の補助や各種事業で活用します。



外国人講師による授業風景

国際交流活動の推進

事業費・・・5,572千円

担当課・・・企画経営課



姉妹都市アメリカクラリダ市公式訪問団歓迎会
(市内ホテルにて)

国際交流活動を推進し、国際化の時代にふさわしい豊かな人間形成を図ります。

◇ 主な国際交流団体への支援

- ・玉名国際交流協会・・・1,000千円
- ・グレン・ミラー音楽祭・・・1,500千円
- ・国際交流奨励費補助・・・1,000千円

※ 国際交流奨励費補助とは、本市に在住する者で、国際交流の促進に寄与すると認められる方に対し1人当たり2万円(ただし1団体は25人を限度)を補助するものです。(市国際交流奨励費補助金交付要綱)

◇ 友好都市瓦房店市公式訪問派遣事業 1,517千円
平成23年度に東日本大震災等の影響を受け中止となっていた友好都市中国瓦房店市への公式訪問団の派遣を本年度実施します。

6. 「音楽の都 玉名」づくり

音楽の都づくり
事業費・・・3,299千円

担当課・・・文化課

本市はグレン・ミラー音楽祭に代表される音楽が盛んなまちです。同様に「音楽の都玉名」づくりの中核を成す市民音楽祭は、「音楽」で感動、癒し、連帯感を高め、本市を楽しく住み良い場所にするのを期待して開催しています。

この市民音楽祭は、立上げから企画、運営、出演まで市民が参加する機会をつくり、官民一体で音楽の裾野拡大を図ります。

【主な事業】

市民音楽祭 事業費 2,500千円



第5回市民音楽祭